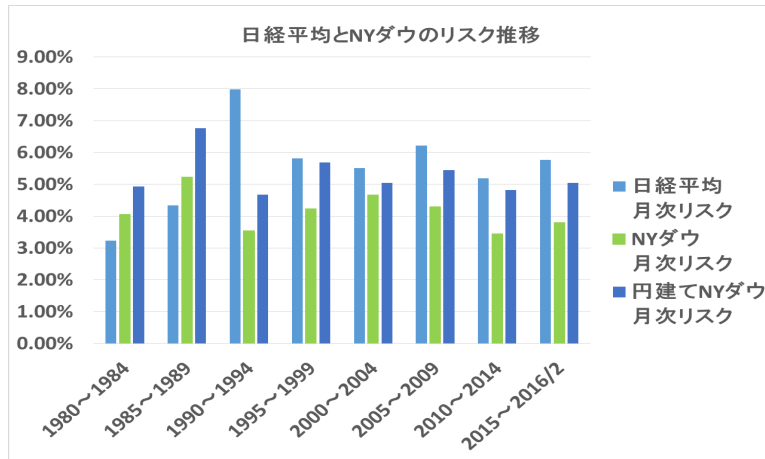


## ATTENTION

### 日本株の変動は、以前より大きくなったか？



このところ、ようやくマーケットが落ち着いてきましたが、今年に入り日経平均はまるでジェットコースターのような上げ下げが続きました。一日で1000円近く上がったたり、下がったりする日もありました。一方、ニューヨークダウも連日一日で400ドル近く上がったたり、下がったりしました。そう遠くない昨年8月にも、日経平均やニューヨークダウは、中国ショックで同じような幅で大きく上げ下げを繰り返しました。こうした大きな変動を見ていると、以前に比べて株式市場の変動幅が大きくなっているのではないかと感じることもあるでしょう。上のグラフは1980年から今年2月までの日経平均とニューヨークダウの変動レベルの推移を見たものです。これを見ると、必ずしも現在のレベルは特別高いわけではなく、以前と変わらないことがわかります。そこから学ぶべきことは、マーケットはしばしば大きく変動するという事です。また興味深いことは、日経平均がニューヨークダウや円建てニューヨークダウより、1980年代は変動幅が小さかったのに、1990年以降ずっと変動幅が大きかった、すなわちリスクが大きかったということです。一方、投資リターンは、過去20年で日経平均は23%下がったのに対し、円建てニューヨークダウは3.2倍になっています。

## OPINION

### 複利効果は日々の生活にも爆発的パワー。

複利効果は資産運用について、その効果が強調されます。ウォーレン・バフェットの660億ドル(約8兆8000億円)の資産の99.5%は50歳以降につくられています。これを、我々の身近な資産運用で見ると、たとえば6%で30年間運用すると、最初の10年では100万円が79万円増え、次の10年で142万円、最後の10年で253万円増えます。同じ期間で増える額が、どんどん大きくなるのです。アインシュタインはいみじくも「複利効果は人類最大の発見」といっています。

ここで我々が十分意識すべきことは、複利効果はお金の運用にとどまらないということです。米物理学者、パートレット博士が「人類最大の欠点は、指数関数を理解する能力に欠けていることだ。」といっています。この複利効果は、我々の日常生活にもあてはまるのです。我々が日常生活のなかで、複利効果を意識することは少ないでしょう。この複利効果を仕事で見ると、新入社員や20代の社員の実績と、50代の社員が経験とスキルを積み上げて出す実績では、雲泥の差があるでしょう。その効果は、長い年月が経つほど大きくなり、上記6%の運用で、60年間の最後の10年では元手の100万円で1456万円増えるというように、指数関数的に爆発的なパワーとなるのです。おそらく、このような複利効果をいつも日々の生活でも意識しながら物事に取り組むと、大きな成果を発揮することでしょう。

## MARKET

	(2月末)	(前月末比)
日経平均	16,026.76円	-1491.54円 (-8.5%)
NYダウ	16,516.50ドル	+50.20ドル (+0.3%)
米ドル	112.75円	-8.37円 (-6.9%)

### 今月の言葉：

正直と誠実は、  
貧しいものが立身出世するのに、  
最も役立つ徳である。

-ベンジャミン・フランクリン

## 今年のウォーレン・バフェット「株主への手紙」

いつ読んでも、バフェットの「株主への手紙」は語りかけ口調で、率直です。その内容は示唆に富むので、今年の冒頭部分を紹介しましょう。まず紹介するのが傘下の企業群。パワー6といわれる、全米一の鉄道会社BNSF、電力会社など6社。さらに27%保有する筆頭株主のクラフト・ハイツ。そしてパークシャーの投資力の源泉となっているのが保険事業。すぐに保険金で支払わないでいい投資可能な資金は過去13年で、実に880億ドルに膨らんでいるとのこと。

バフェットの会社買収の哲学は、買収した会社の経営陣に引き続き経営を担ってもらおうということです。そのため、まず買収する際には経営者の資質をよく吟味します。その意味をバフェットは次の言葉で言い表しています。「一生惨めな生活を間違えなくしたいなら、相手の行動を変えようと思って結婚することだ。」

市場株式は、ビッグ4といわれるアメリカン・エクスプレス、コカコーラ、IBM、ウェルス・ファーゴを保有しIBM、ウェルス・ファーゴを買って増したとのこと。バフェットはいま困難な時期にあるAMEX、IBMの経営を高く評価しています。経営者は、これにどれほど勇気付けられることでしょう。これら一部保有株式を、バフェットは「模造ダイヤ1個持つより、ホープ・ダイヤモンド(45.5カラットの世界的ダイヤ)の一部を持つほう

がよほどよい」と評しています。

バフェットによれば、パークシャーの強みは、一括買収と、市場株式を大量に買いつけて保有する方法の二つの方式を取れることとのことです。これを、こう表しています。「両性愛者の強みは、土曜日の夜、デートができるチャンスが2倍になることだ。」

そしてバフェットが一貫していい続けているのが、アメリカの明るい未来です。

今年大統領選のため、候補者が米国のさまざまな問題を持ち出すため、アメリカの国民は、子供たちの世代はいまのように良くは生きられないだろうと信じているようになっていく。しかし、それはまったくの間違いだ。今日アメリカで生まれた赤ちゃんは、歴史上最も幸運なひとだ。アメリカのエコノミック・マジックは、これからも生き生きと威力を持ち続ける。

アメリカで最も影響力ある人物が限りない信頼を自分の国に寄せているということは、はかり知れないよい影響を社会に与えることでしょう。

この「株主への手紙」はパークシャー・ハサウェイのホームページから誰でも簡単に手に入ります。  
<http://www.berkshirehathaway.com/>

## SEMINAR

### 第55回『退職金や金融資産をしっかりと運用するためのセミナー』

—こうすればしっかりお金を増やすことができる—

年金支給開始の先送り、支給額の減額が現実になりつつあり、老後の生活環境はますます厳しさを増しています。一方で手数料収入を取り込もうとリスクの高い金融商品を売り込む金融機関の営業活動はさらに激しくなっています。リスクの高い商品を勧められ、取り返しのつかない痛手を被ることも珍しくありません。自分年金を間違えなく作る必要性はますます高まっています。

- 国際分散投資のメリットと必要性
  - 本当に正しい資産運用法の実践法
  - お金に困らない老後の安心をいかに確保するか
  - よい金融商品はどのようなものか
  - 安心してお金の相談をできる場所はどこか
  - NISAの賢い活用法
  - 相続税アップにどう対応すべき
- 詳細はホームページをご覧ください。

30年以上の経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持つ、金融機関から完全独立の資産運用アドバイザー尾藤 峰男が「セカンドライフを豊かに過ごすための資産運用法」をお話します！若い人も中高年の人もぜひお越しください！

日時 : 2016年3月26日(土)15:00~17:00

場所 : TKP東京駅丸の内会議室ミーティングルームC(日比谷帝劇ビル地下1階)

<http://tkpteigeki.net/access/index.shtml> (最寄り駅:有楽町・日比谷駅)

講師 : 尾藤 峰男 びとうファイナンシャルサービス代表取締役

参加費 : 3,000円(当日支払い)

申込み方法 : メールまたは電話にて「3月26日セミナー参加希望」として、お名前とご連絡先をお知らせください。

E-メール: [info@bfsc.jp](mailto:info@bfsc.jp) Tel: 03-6721-8386

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者 : びとうファイナンシャルサービス株式会社  
代表取締役 尾藤峰男

電話 : 03-6721-8386  
携帯 : 070-5567-3311

FAX: 050-3156-1072  
電子メール: [info@bfsc.jp](mailto:info@bfsc.jp)